

# 仁王像4年ぶり帰還

## 鎌倉・小町の本覚寺

鎌倉市小町の本覚寺(永倉嘉文住職)仁王門の2体の仁王(金剛力士)像の保存修理が終わり、12月16日、仁王門に収められたII写真。

2012年9月から仁王門と仏像の修理を開始され、仁王門は2013年に完成したが、仏像は納期が遅れていた。16日は朝9時すぎに門前にトラックが到着すると、6、7人がかりで台座や、高さ2メートルを超える仏像を仁王門に運び入れ、5時間ほどかけて2体の設置が終わった。仏像は江戸時代初期の安二郎監督の「東身延」と称され、日蓮宗の寺として



### 施設の子供たちに餅つきプレゼント

鎌倉菓子組合

鎌倉市佐助の児童養護施設「鎌倉信童ホーム」で12月3日、鎌倉菓子組合(浜野誠組合長・組合員38人)主催の餅つきが行われたII写真。同組合が1975年から開催している催しで4回目。もち米40kgが準備さ



て信仰されている。現存する二天門建立棟札によると、最初の山門は日朝が創建し、4百年後の1876年(明治9)に老朽化にともない、41世の日普住職が再建した。2012年の改修でその素材を洗浄、補強するなどして保存修理した。本堂の改築も2014年から行われ、昨年6月に完成し法要が営まれた。

### 山内静夫さんが特別功労章

#### 小津作品で日本映画界に貢献

昨年12月1日の「映画の日」に都内のホテルで開催された第61回「映画の日」中央大会で、元松竹プロデューサー・山内静夫さん(91)II写真前座から2番目IIが特別功労章を受章した。同賞は日本映画界に多大な貢献をした者に贈られる賞で、山内氏は小津安二郎監督の「早春」監督の「秋日和」「秋刀魚の味」などの代表作を含めて作品のプロデュースに力を注ぎ、小津監督亡き後は、「小津安二郎記念・夢科高原映画祭」

「秋日和」「秋刀魚の味」などの代表作を含めて作品のプロデュースに力を注ぎ、小津監督亡き後は、「小津安二郎記念・夢科高原映画祭」

### 第61回映画の日中央式典



今年創立70周年を迎えた鎌倉商工会議所(久保田陽彦会長)が12月6日(金)の夜、約300人が参加し、交流したII写真。商工業の功労者の表彰もあった。

### 鎌倉商工会議所70周年 商工業功労者の表彰も

今年創立70周年を迎えた鎌倉商工会議所(久保田陽彦会長)が12月6日(金)の夜、約300人が参加し、交流したII写真。商工業の功労者の表彰もあった。



12月10日には北鎌倉の浄智寺で小津安二郎監督の映画上映の後、山内静夫さんと俳優の柄本明さんとの対談がありII写真下、好評だった。映画文化を継承するため、地域とのコラボで上映会を行う湘南遊映会主催の「みんなの小津会」の企画。山内さんは「私の映画生活の大半を小津先生とすごし、多くを学ばせていただいた。一番の恩人である宿命であると思う」と話していた。

### 本覚寺に桐ヶ谷桜植樹

かまくら桜の会

鎌倉で生まれ、京都御



の父親の会「かまくら桜の会」(高柳英磨会長)が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント



文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会

鎌倉の七里が浜楓幼稚園の父親会が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

れ、組合員が蒸しあがった米を臼に移すと子どもたちが代わる代わる餅をついた。つきあがった餅には、大根おろし、きなこ、のし餅もできた。子どもたちは満面の笑みでつきたての餅をほおばっていた。同施設では2歳から高校生まで72人が生活している。

の父親の会「かまくら桜の会」(高柳英磨会長)が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

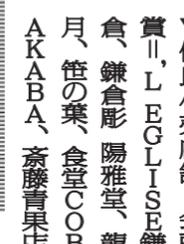


文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会

鎌倉の七里が浜楓幼稚園の父親会が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

の父親の会「かまくら桜の会」(高柳英磨会長)が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会

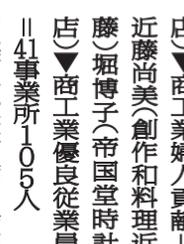


文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会

鎌倉の七里が浜楓幼稚園の父親会が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

の父親の会「かまくら桜の会」(高柳英磨会長)が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会

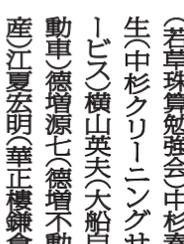


文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会

鎌倉の七里が浜楓幼稚園の父親会が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

の父親の会「かまくら桜の会」(高柳英磨会長)が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会



文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会

鎌倉の七里が浜楓幼稚園の父親会が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

の父親の会「かまくら桜の会」(高柳英磨会長)が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会



文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会

鎌倉の七里が浜楓幼稚園の父親会が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

の父親の会「かまくら桜の会」(高柳英磨会長)が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会



文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会

鎌倉の七里が浜楓幼稚園の父親会が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

の父親の会「かまくら桜の会」(高柳英磨会長)が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会



文科大臣表彰 楓幼稚園の父親会

鎌倉の七里が浜楓幼稚園の父親会が12月25日、鎌倉市小町の施設の子供たちに餅つきプレゼント

鎌倉といえば...

# 鳩サブレ

**豊島屋**

http://www.hato.co.jp

### 鎌倉朝日歌壇

香山 静子 選

波頭捉へんとしてサーファーは初日の海に板滑らす  
 確かな描写によって波の音も聞こえてくる。  
 寺庭の墓地向と続く坂道をカラカラロンと団栗下る  
 「カラカラロン」の擬音語が効果的で楽しい歌。  
 杞憂なるや破天荒なるトランプの指針のまへに思ひ惑へり  
 現状を鋭く捉えた時事歌。  
 朝霧の濃く薄く層層として今日の天気は何色ならん  
 ふり向けば手を振り続ける父おろして夕暮の道に歩みゆるめる  
 たつぷりと落ち葉を根元に溜め込みし木々を従え降は冬眠へ  
 大根の畑一面に雪つもり抜くに抜かれぬ青首の列  
 幼子は腰を「へ」の字に曲げながら黄金色の絨毯歩く  
 おのづから言葉失ふばかりなり季節外れの初積雪で  
 いわし雲広がる空の下に竹つひと月分の葉をさけて  
 風に乗り灯油の移動販売の声の聞こえて冬ざりにけり

返り市 湊 美根子  
 片瀬 中村 喬  
 大船 小笹美子  
 辻堂 柳 蒼柳

### 鎌倉朝日俳壇

志摩 知子 選

外人墓地十字の墓標つた紅葉  
 英国の外人墓地をみたことがある。 萬紅葉が美しい。  
 棘痕の斑点数ある油湯かな  
 油湯に入りながら柚子と遊んでいる作者。  
 釣人の耳あて寒し冬の空  
 釣人が釣をしている。耳あてに目をとめた面白さ。  
 枯野まで影追ひつめて夕日落つ  
 夕日がどんと落ちてゆく。中七の表現がうまい。  
 北の駅小きホームは紅葉中  
 北の単線の駅であらう。紅葉がいつぱいに広がる。  
 雪が舞ふ日本列島駆け抜ける  
 思いがけない雪。作者の喜びがリズムになっている。  
 小春日や習ひ始めのピアノ音  
 本館沼 宗とし尾  
 臥せる身にはや年の瀬を迎へけり  
 材木座 貝山 正子  
 除夜の鐘過ぎし月目を振り返さる  
 母を知る気さくな人日向ほこ  
 さんざめく星のおしゅへり寒霜  
 リハビリの杖に無慈悲な初時雨  
 茶の花にそよぐ日差しやわらかき  
 陽のあたる枯野懐かきかな  
 リハビリのまたまた続く黄落期  
 大寺の丸き枝や石露の花  
 お正月一人寂しく家の中

川名 横野あさ子  
 辻堂 柳 蒼柳  
 山内町 近藤 純  
 大庭 青木寿美子  
 七里方 尚久

### 鎌倉朝日歌壇

香山 静子 選

波頭捉へんとしてサーファーは初日の海に板滑らす  
 確かな描写によって波の音も聞こえてくる。  
 寺庭の墓地向と続く坂道をカラカラロンと団栗下る  
 「カラカラロン」の擬音語が効果的で楽しい歌。  
 杞憂なるや破天荒なるトランプの指針のまへに思ひ惑へり  
 現状を鋭く捉えた時事歌。  
 朝霧の濃く薄く層層として今日の天気は何色ならん  
 ふり向けば手を振り続ける父おろして夕暮の道に歩みゆるめる  
 たつぷりと落ち葉を根元に溜め込みし木々を従え降は冬眠へ  
 大根の畑一面に雪つもり抜くに抜かれぬ青首の列  
 幼子は腰を「へ」の字に曲げながら黄金色の絨毯歩く  
 おのづから言葉失ふばかりなり季節外れの初積雪で  
 いわし雲広がる空の下に竹つひと月分の葉をさけて  
 風に乗り灯油の移動販売の声の聞こえて冬ざりにけり

返り市 湊 美根子  
 片瀬 中村 喬  
 大船 小笹美子  
 辻堂 柳 蒼柳

### 鎌倉朝日歌壇

香山 静子 選

波頭捉へんとしてサーファーは初日の海に板滑らす  
 確かな描写によって波の音も聞こえてくる。  
 寺庭の墓地向と続く坂道をカラカラロンと団栗下る  
 「カラカラロン」の擬音語が効果的で楽しい歌。  
 杞憂なるや破天荒なるトランプの指針のまへに思ひ惑へり  
 現状を鋭く捉えた時事歌。  
 朝霧の濃く薄く層層として今日の天気は何色ならん  
 ふり向けば手を振り続ける父おろして夕暮の道に歩みゆるめる  
 たつぷりと落ち葉を根元に溜め込みし木々を従え降は冬眠へ  
 大根の畑一面に雪つもり抜くに抜かれぬ青首の列  
 幼子は腰を「へ」の字に曲げながら黄金色の絨毯歩く  
 おのづから言葉失ふばかりなり季節外れの初積雪で  
 いわし雲広がる空の下に竹つひと月分の葉をさけて  
 風に乗り灯油の移動販売の声の聞こえて冬ざりにけり

返り市 湊 美根子  
 片瀬 中村 喬  
 大船 小笹美子  
 辻堂 柳 蒼柳